

# 在宅訪問同行研修受講者募集!!

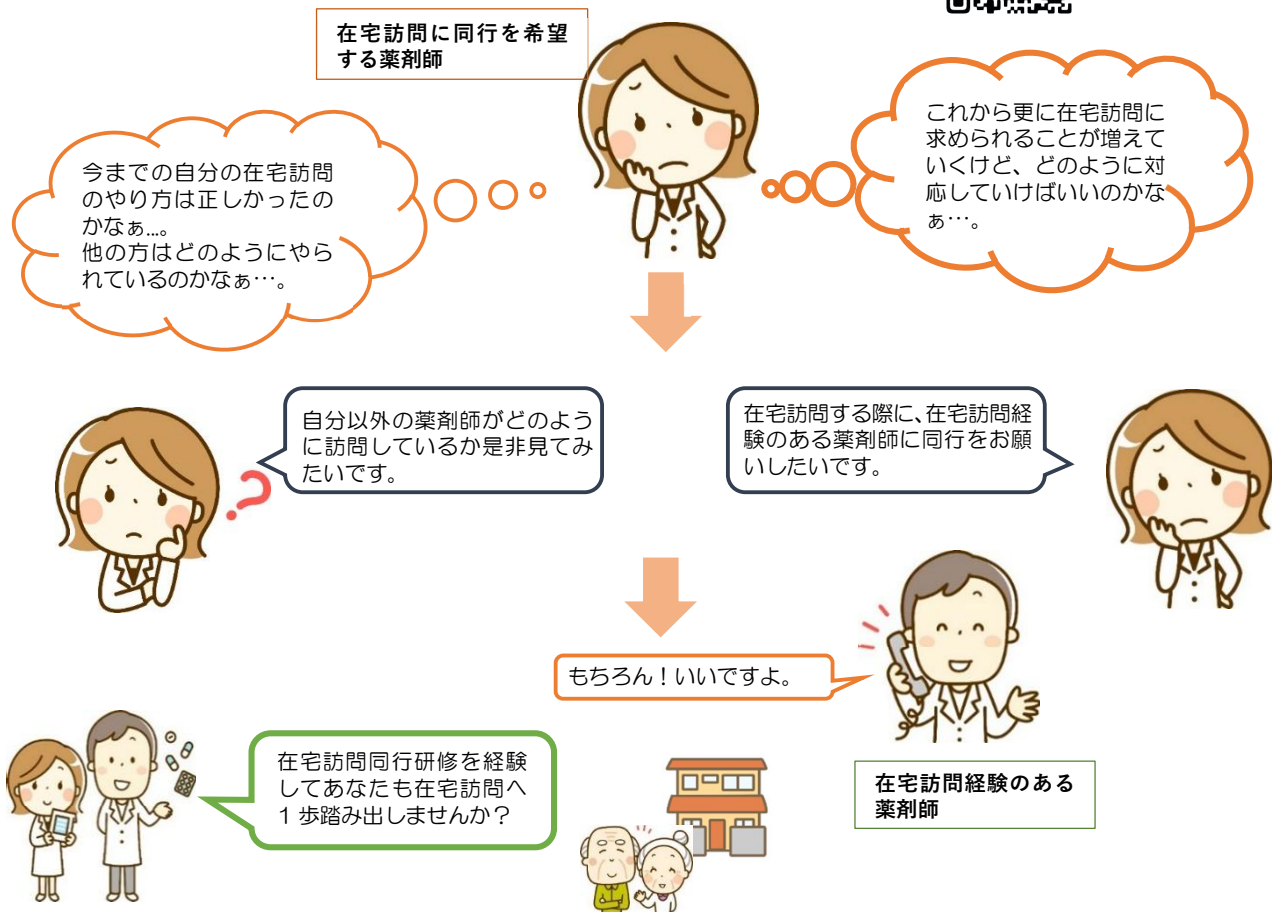
- 1 事業内容 在宅訪問の経験がある薬剤師（講師）が在宅訪問する際に、同行を希望する薬剤師（受講者）と一緒に訪問、又は、受講者が在宅訪問する際に、在宅訪問の経験がある薬剤師（講師）が同行し、OJT方式で研修を実施する。
- 2 募集期間 令和8年7月～令和9年1月
- 3 実施期間 令和8年8月～令和9年1月（訪問日等は、後日調整いたします。）
- 4 対象 静岡県内に勤務する薬剤師
- 5 募集人数 20名
- 6 受講料 無料
- 7 申込方法 県薬剤師会ホームページ「在宅訪問同行研修」又は下記URL、QRコードからお申し込みください。（令和9年1月末日締切）

URL <https://forms.gle/9ZwhvyZYcG6Ns3T27>



- 8 問合せ先 静岡県薬剤師会事務局（担当：山澤） 電話 054-203-2023 F A X 054-203-2028
- 9 その他 終了後、「アンケート」を県薬剤師会ホームページ「在宅訪問同行研修」又は下記URL、QRコードからご回答ください。

URL <https://forms.gle/SmN9Wu8HAXA95mhr5>



もちろんまだ在宅訪問の経験のない方、経験の浅い方もお申し込みください！

※地域薬剤師会開催の「在宅医療に関する入門研修会」は在宅訪問を始める前の準備、訪問指導の流れなどを説明しています。

本研修受講前に、「在宅医療に関する入門研修会」の受講をお願いします。受講ができない場合は、日本薬剤師会ホームページ掲載の「在宅服薬支援マニュアル」をご一読のうえ、参加ください。

## < 受講者の研修に参加しての感想 >

### 笑顔に変わる患者やご家族

- 患者・ご家族並びにケアマネジャーの方からの意見・要望を傾聴・情報を整理し、薬剤師としてこの問題の解決策を提案（一包化とお薬カレンダーへのセット）された結果、当初不安そうにされていた患者・ご家族の方の顔が笑顔に変わっていきました。

### 多職種連携の重要性

- 医師や看護師との連携はもちろん重要ですが、患者の実際の生活の場を支えるヘルパーさんや訪問看護師さんとの接点はとても重要と感じました。

### ポリファーマシーの解消

- 薬剤師として、処方薬の整理によるポリファーマシーの解消や、今回はありませんでしたが剤型変更の提案が、いかに生活を支える事に直結するかを再認識しました。

### 薬剤師の職能を実感

- ご自宅を訪問することによって、時間的な制約や周りの目を気にすることなく患者さんとそのご家族の悩みや問題を一緒に考える姿勢を拝見し、在宅訪問は薬剤師としての専門性を生かしたやりがいのある仕事であると感じることができた。

### 患者に合わせたやり方

- 患者ひとりひとりに合わせたやり方を患者やその家族と一緒に探していくことが大事なのだった。

### 病院薬剤師として

- 入院している患者さんでは病気と薬を見ることに一番比重が大きくなりがちですが、在宅訪問では患者さん一人ひとりの生活を第一に考えることが大切だということを学ぶことができました。入院中の患者さんに対して、今後は退院後の生活をより意識した介入をしていきたいと思えます。

### 踏み込んだ薬学的ケア

- 処方された薬がどのように保管され、どのような思いで服用されているのか、また身体機能の変化が服薬管理にどれほど影響するのかを肌で感じることができました。今後は単に正確に調剤するだけでなく、患者の生活導線やご家族の負担までを考慮した、より踏み込んだ薬学的ケアを実践できればと強く思いました。